

ユニバーサルデザインを意識した学校づくりと ICT 機器の活用

本校では積極的にユニバーサルデザインを取り入れた面接指導を展開しています。また ICT 機器の活用・普及に取り組んでいます。

ユニバーサルデザインについて

ユニバーサルデザイン（以下UD）を意識した学校づくりは、以下の3観点に力を入れています。

誰もがわかる面接指導、集中して学習できる環境づくり、安心して過ごせるための良好な生徒と先生の人間関係づくりなどを意識しています。

※ユニバーサルデザインとは？

- ・すべての生徒さんを対象として、誰もがわかる、安心できるような共通のデザイン手法のことです。
- ・簡単にいうと誰もがわかる面接指導計画や、安心できる学習環境・人間関係づくりなどのことです。

※ICT機器とは？

- ・Information and Communication Technology の略で、一般的にはパソコンやプロジェクタなどの情報機器のことです。今はすべての教室にホワイトボードとプロジェクタが設置されています。

- ・ホワイトボードや教室の壁に余計な掲示物を貼らない。
- ・各教室に教科と教科担任の指標を貼る。
- ・ゴミ箱に分別の指標を貼る。

- ・生徒と教師がよい人間関係を築けるような声掛けをする。
- ・名前を呼ぶ際、「さん」を付け、人格を大切にする。
- ・意欲をもってレポートにとりくめるように励ましの言葉やコメントをレポートに書く。

教室環境の
UD化

人的環境の
UD化

授業のUD化

- ・本時の目標を明確に提示する。
- ・ICT機器を活用し、興味・関心や理解を促す。
- ・ペンの色を使い分け重要なところを理解しやすくする。
- ・一つの説明で一回の行動をするような指示を心がける。
- ・プリントの枚数を制限し、整理整頓しやすくする。

ICT機器の活用

令和元年度以降、県下すべての公立高校に、電子黒板機能付きのプロジェクタが導入されることになり、本校の各教室にも設置されています。

このような機器のことを ICT 機器と呼び、視覚的・聴覚的に情報を伝えることで、生徒の興味・関心を促したり、理解を深めたり、あるいは時間短縮といった様々な教育効果が得られています。

写真にあるように、本校ではほぼすべての面接指導にて、パワーポイントを用いており、視覚的に分かりやすい説明を行っています。電子ペンで重要な用語に書き込みを入れたり、グーグルマップを使って世界中の写真を提示したり、様々な活用を行っています。

また、近年ではペーパーレス化を積極的に行い、生徒は MetaMoji Classroom というアプリを利用して、各種連絡が電子配付されたり、報告課題を電子提出したりすることができます。もちろん紙の削減だけではなく、生徒一人一人が様々な情報管理をスマホ1台で行えるなど、多くのメリットがあります。

